

## 令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・昨年度に引き続き、多くの領域で目標値を上回った。
- ・ペアで説明をし合う活動を学習の中で取り入れたことにより、基礎の定着が高まった。昨年度と比較すると基礎の目標値の上回りが大きくなった。

#### (2) 課題

- ・「書く」の正答率が目標値と比べると低い。自分の考えを明確にするための理由や、目的や意図を明確にする。
- ・自分の考えと他の考えを比較したときの、共通点や相違点に着目し、自分の考えをもつ。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	△	/	/
第5学年	△	△ (第4学年時)	/
第6学年	△	△ (第5学年時)	△ (第4学年時)

#### (2) 分析(観点別)

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると上回っていた。	・目標値と比較すると上回っていた。	・言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると上回っていた。	・目標値と比較すると上回っていた。	・言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。

### 3 授業改善のポイント(観点別)

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多層指導モデル「MIM」の活用や文章を読み返すことを習慣化することで、撥音、長音、学習した漢字等、文章中で正しく活用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きたいことを明確にし、必要に応じてメモを取りながら話を聞く経験を積み重ねていくことで、要点を落とさず聞く力の向上を促す。</li> <li>・モデル文の提示により、自分の考えを詳しく伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で学んだ文章の書き方やメモの取り方等を他教科等でも活用できるよう意識付けする。</li> <li>・粘り強く取り組んでいる姿を価値づけ、他の児童に広げていく。</li> <li>・学習を振り返る時間を適時、設定する。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文末表現に気を付けて読んだり書いたりすることで、「事実」と「考え」を区別できるようにする。</li> <li>・主語、述語の理解を深めるとともに、指示する語句、接続する語句を適宜使い、ペアで説明し合う活動や、自分の考えを表現する活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にするために、教科書の巻末「図を使って考えよう」を活用し、二段階で考えられるようにする。</li> <li>・「なぜなら」「その理由は」「例えば」などの表現を活用できるようにし、自分の考えを効果的に詳しく表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が具体的にどのようにすればよいか掴めるように、モデルや例を示したり、必要な要素を話し合ってから取り組めるようにしたりする。</li> <li>・自分の考えを相手に伝えることができたのか、振り返りを行う。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻末資料等を活用し、語彙や情報整理の仕方の定着を図る。</li> <li>・学校行事や来客があったときなど、具体的な場面を連想させて、必要に応じた敬語を使うことに慣れるようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと友達の影響やモデルとの共通点や相違点に着目して、比較しながら考え、考えをまとめさせる。</li> <li>・目的や意図を明確にし、それらに応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたり、自分で判断して書けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等横断的な視点を提示し、児童が必要感をもてるようにする。</li> <li>・書いた文章を児童間で読み合ったり、地域の方から評価をいただいたりする機会を設ける。</li> </ul>